○議長（茅沼隆文）

次に、日程第7 議案第25号 平成29年度開成町一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

予算書の説明を順次担当課長に求めます。

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

それでは、1ページをお開きください。

議案第25号 平成29年度開成町一般会計補正予算（第1号）。

平成29年度開成町の一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正。第1条既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ195万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ51億6,195万7,000円とする。

第2項、歳入歳出の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

平成29年6月16日提出、開成町長、府川裕一。

次のページをお開きください。

第1表 歳入歳出予算補正になります。

歳入第12款使用料及び手数料から、第19款諸収入の全3款。右のページ、歳出第7款、土木費から第13款予備費の全4款につきまして、総額195万7,000円の増額補正をするものでございます。

それでは、補正予算の詳細を、歳入歳出予算事項別明細書により御説明をいたします。10ページ、11ページをお願いいたします。

2、歳入、12款使用料及び手数料、1項使用料、4目土木使用料、1節住宅使用料、説明欄1、町営住宅使用料現年度分、15万7,000円の増。

前段としまして、町営住宅の現状について、少しお話をさせていただきたいと思っております。

平成25年度から進めてまいりました、開成町営住宅整理統合事業において、町営住宅3団地に居住されている方の安全な生活環境を保ち、長く施設を活用するため、特に老朽化の著しい四ツ角団地を用途廃止の対象としまして、円通寺団地、河原町団地に統合することで、住環境の整備や長寿命化対策を講じながら、適正に維持管理をしてきたところでございます。

四ツ角団地には、現在、4世帯が居住をしております。これまで自治会の組としての役割を含む地域コミュニティの機能の確保といった観点から、4世帯同時の移転を目指しているということで、議会に対しても御説明をしてきたところでございます。

ここで河原町団地4戸、そして、円通寺団地2戸、計6戸の空き室が生じたことから、年内をめどにこの移転を進めてまいりたいと考えております。

そこで歳入におきまして、四ツ角住宅から移転する4世帯の家賃差額としまして、

1月から3月、3カ月分、6万2,100円、そして、公募に伴いまして、新規入居2世帯を見込んでございますので、この家賃1月から3月の3カ月分、こちらが9万5,400円としまして計上するものでございます。ただし、移転のタイミング等によりまして、実際の収入額は変動しますので、あくまでも資産に基づく予算計上となっております。

続きまして、神奈川県市町村推進事業交付金、こちらにつきましましては、後段で出てまいります歳出の支出額の増減に伴いまして、歳入額が変更になっているというところで30万円の減でございます。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

続きまして、19款諸収入でございます。4項雑入、1目雑入、1、総務費雑入でございます。

説明欄1節自治総合センターコミュニティ事業助成金100万円でございます。こちらにつきましましては、消防団員の安全装備品につきましまして、平成29年度の宝くじ収益金を活用いたしました、自治総合センターコミュニティ事業助成金が採択されたことによりまして計上するものでございます。

○教育総務課長（橋本健一郎）

続きまして、8節教育費雑入でございます。110万円でございます。移住、定住交流推進支援事業費助成金でございます。こちらにつきましましては、今年度も実施いたします、北海道幕別町との交流事業を都市間交流による地域活性化、地域の魅力発信推進事業として申請していたものが、一般財団法人地域活性化センターにより採択されたものでございます。

○財務課長（田中栄之）

続きまして、歳出に移ります。その前に先程の歳入の御説明の中で、ちょっと言葉を間違えておりましたので、訂正をさせていただきたいと思っております。先程の30万円の減の原因としましては、ただいま御説明をいたしました、教育費雑入の移住・定住・交流推進支援事業、こちらいわゆる幕別との交流に係る経費でございます。こちらの補助金が採択されたことによりまして、先程申しあげました推進交付金のほうの減になっているということで、言葉のほうは歳出と歳入を取り違えておりましたので、訂正をさせていただきたいと思っております。

続きまして、12ページ、13ページ、歳出に移ります。

3、歳出、7款土木費、5項住宅費、1目住宅管理費、説明欄1、住宅維持管理事業費。15節工事請負費、居室リフォーム工事費、873万8,000円、空き室となっている6室のうち、既にリフォームが済んでおります1室を除きます5室について、リフォーム工事を実施いたします。

1室あたりの費用は、120万円から190万円程度見込んでございます。

同じく22節補償・補填及び賠償金、入居者移転補償費95万円、こちらは平成25年に決めました、開成町営住宅整理統合事業補償催促に基づきまして、移転に伴う

費用として、動産移転料、いわゆる引っ越しの費用としまして、13万5,200円、それから、就業不納補償料4万7,400円、居住者補償料4万700円、一部消費税相当額などを含みまして、合計で1世帯当たり23万7,300円お支払いしますので、その4世帯分の補償費を計上してございます。

○危機管理担当課長（渡邊雅彦）

続きまして、8款消防費、1項同じく消防費、2目非常備消防費になります。

11節事業費、説明欄1、消防団等活動推進事業費、消耗品でございます。104万1,000円となります。

平成29年度、30年度の2力年で購入予定でございます、消防団用の防火衣、防火棒、ロング長靴につきまして、歳入で御説明いたしました、自治総合センターコミュニティ事業助成金が採択されたこと伴いまして、前倒しをして、購入を行うものでございます。当初予算では、14セット購入予定でございましたが、自治総合センターコミュニティ助成事業助成金に見合う9セット分を増やし、計23セットを購入する予定でございます。

○教育総務課長（橋本健一郎）

続きまして、9款教育費、2項開成小学校費、3目小学校給食費でございます。備品購入費、牛乳保冷库購入費64万8,000円でございます。こちらにつきましては、開成小学校の給食費にあります牛乳用の冷蔵庫でございますけれども、平成12年に購入して17年経過しているものでございます。

こちらが温度を管理する基盤部分が故障いたしまして、正常な温度管理ができなくなったもので、修理も検討したところでございますけれども、金額的にも買い替えたほうが、金額と変わらず、17年経過しているということでございますので、買い替えをするものでございます。

こちらの冷蔵庫につきましては、業者から搬入のありました牛乳をコンテナごと給食時まで保冷しておくためのものでございます。

続きまして、9款教育費、6項社会教育費、1目社会教育総務費でございます。こちらは先程の補助金の関係でございまして、財源更生となっております。

以上です。

○財務課長（田中栄之）

14ページ、15ページになります。13款予備費です。今回の補正による歳入歳出の差額を予備費942万円で調整をいたします。

説明は以上です。よろしく願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑を行います。質疑はございませんか。

1番、佐々木昇議員。

○1番（佐々木 昇）

1番、佐々木昇です。13ページの9款教育費の中の給食施設整備事業費のところ

でちょっとお伺いします。保冷庫を購入するということですがけれども、これは実際、調子が悪くなったといえますか、その辺はいつ頃から調子が悪くなったのか。現在、対応はどのようにしているのか、ちょっとお伺いします。

○議長（茅沼隆文）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

では、お答えいたしたいと思います。調子が悪くなりましたのが、今年の4月ですね。給食開始前というところでございます。状況といたしましては、温度管理がうまくできず、逆に冷え過ぎてしまうという状況がございまして、修理も検討したわけなんですけれども、基盤も替えるに当たりまして、50万円とかかかってしまうということがございましたので、それではなかなかもったいない部分もあって、またいつ壊れるかわからないというところで新規に買い替えということでしたらと思ってございます。

対応といたしましては、冷え過ぎてしまうというところですので、給食の調理師さんが、時間を見て、ドアを開けて、冷え過ぎないような感じで対応をさせていただいているところでございます。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木 昇）

調子が悪くなるのが、冷え過ぎるということで、その中でも不幸中の幸いだったかなというのがありますけれども。

私は、ぜひ早い対応をしていただきたいと思うのですがけれども、ここで補正予算が通った後、どのような工程、設置ということで、工事等はないと思うのですがけれども、その辺の確認と。設置完了、いつ頃予定されているのか、ちょっとお伺いします。

○議長（茅沼隆文）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

では、お答えしたいと思います。ここで補正が認められますと、早速、事業の執行に移っていきたく思っております。給食室でございますので、なかなか普段出入りが難しい面もございまして、給食が終わりまして、夏休みに入って早々に据え付けに入りたいと考えてございます。

○議長（茅沼隆文）

佐々木議員。

○1番（佐々木 昇）

できるだけ早い対応でよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑。

6番、菊川敬人議員。

○6番（菊川敬人）

6番、菊川です。関連でお伺いいたします。ただいまの購入費が64万8,000円ですか。基盤の修理費が50万円ぐらいかかるということでもあります。非常に64万8,000円に対する50万円の基盤の修理というのは、ウエイトは大きいのですね。ちょっと異常に高いかなという感じがするのですが、そののところ、基盤の金額の確認というのは、どういう形でされたのか。1社のみなのか。2社ぐらいの業者に聞かれたのか、見積をとられたか。そのところ、詳細をお伺いしたいと思います。

○議長（茅沼隆文）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

では、お答えしたいと思います。こちらも早期の対応が必要ということでございましたので、見積をいただいたのは1社でございます。そういった中で、やはり17年経過しているというところで、一部だけ修理をすれば対応ができればよかったですけれども、基盤全部を交換しないと対応ができないという状況でございましたので、それについてはいたし方がないということで、購入をしたいと考えているところでございます。

○議長（茅沼隆文）

ほかに、4番、前田せつよ議員。

○4番（前田せつよ）

4番、前田せつよでございます。13ページの住宅維持管理事業費ということで、町営住宅、四ツ角団地の方が、4世帯移転という形に関してでございますが、先程課長の御説明ですと、1世帯当たり23万7,300円という形の総額で行われるということも含めまして、町としては、平成25年から、この4世帯の方といろいろかわられた形で、具体的に動いているというわけでございますが、今住んでいらっしゃる方に関しては、本当に御高齢の方もいらっしゃるし、何十年も住み慣れた場所ということの中で、その前段の部分のお話もありましたけれども、4世帯の方に十分納得した形での今回の予算計上の形に結び付いていたのかどうか。その辺の背景について、詳しく御説明いただければと思います。

○議長（茅沼隆文）

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

それでは、お答えをしたいと思います。開成町営住宅の整備統合につきましては、先程平成24年からというお話をさせていただいております。

平成24年12月に、四ツ角団地の入居者に対しまして、まず説明会を開催してございます。その時点で、町の考え方と皆さんの思いというものを確認いたしまして、おおむね移転については「了承しました」というお答えをいただいております。

ただし、一つネックになっておりましたのは、やはり3階ですとか、それから円通寺は4階というのがございますので、いわゆる高層階に移るということに対しては、御高齢の方からは御心配の声があったということは確かでございます。

今回は、空き室のうちの4室につきましては、2階となつてございます。以降、3階と4階ということですので、いわゆる4世帯の方が、3階より上の階に行くということはございませんので、その分のまず不安は払拭できているのかなということが1点。

それから、今回、予算を計上する前に、既に各4世帯の方には個別にお会いをさせていただきまして、いよいよそのタイミングがやってきましたけれど、いかがでしょうかということでお話はさせていただいております。ただ、また個別にお話をすると、よからぬ疑惑を招くといけませんので、来週ですけれども、4世帯全ての方を集めまして、私も同席した上で、これまでの経過と今後の対応についてお話を申しあげたいと考えているところでございます。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

前田議員。

○4番（前田せつよ）

先程の前段の説明の中で、課長がおっしゃっていたように、年度内というか、12月というような数字も出てきたように伺うわけでございますが、高齢者もいられる中で、12月の引っ越しはいかなものかと。もう少し時期的な形で配慮ができるような形の移転等々というのは、町の中で考えがあったのかなかったのか。その辺について、答弁願います。

○議長（茅沼隆文）

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

それでは、お答えをしたいと思います。一応12月というのは、こちらで設定したということではなくて、皆さんにお伺いしたところ、やはり新年を迎えるにあたって、新居に移りたいというお考えもありましたので、そこで補正予算を計上しまして、早ければこの夏から着工をして、おおむね9月、10月までには工事を終了させて、遅くとも11月までには終了させて、早い段階から準備に移っていただくと。12月1カ月で動くということではなくて、早く終わったところで、動ける方から動いていただくということで現在は考えているところでございます。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質疑はございませんか。

2番、山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。ただいまの住宅維持管理事業費について、関連で質問させて

いただきます。この件については、総務経済常任委員会で所管になっているので、あまり触れるような質問はちょっと避けたいと思いますので、今回、補正予算について、入居者移転補償費ということで4世帯全部の補償費が計上されております。今、課長答弁の中では、うまくいった場合の話がされていると思うので、4世帯のうち、もし1世帯、どうしても動かないよという場合には、強制的というか、出てもらわなければいけない状態の決断なのかなと、ちょっと承諾が大前提なんですけれども、最終的には1世帯残って維持というのはなかなか難しいので、強制的な部分が出てくると思うんですけれども、そこら辺の考えをお聞きしたいなど。

○議長（茅沼隆文）

財務課長。

○財務課長（田中栄之）

それではお答えをしたいと思います。ただいま強制的という言葉がありましたけれども、強制的に動かすものではございませんので、やはりそれは最後の最後まできちんと御説明をして、自主的に移転をしていただく。これまでの私も含めての感触としては、そういったことはないであろうということは考えておりますので、一つには、四ツ角住宅、大分老朽化をしております。

今度移転をしていただくところについては、全て台所ですとか、お風呂周り、トイレ、リフォームをした上で入居をしていただきますので、居住の環境としては、かなりよくなるということからすれば、あまりそこに対する反対は、現時点でお伺いをしておりますし、丁寧に御説明をする中で、この期間内での移転をしていきたいと考えております。

○議長（茅沼隆文）

山田議員。

○2番（山田貴弘）

2番、山田貴弘です。課長答弁の中で、言っていることはわかるんですけれども、やはり相手がいるわけですから、いいシナリオばかり描いていても、ものはうまくいかないというものも想定した中で、動きをとっていかないといけないと思うので、当然、これは今回、予算計上したというのは、そこら辺の想定の中でヒアリングをしているというのは、承知はしているんですけれども、やはり1世帯だけ残って維持というのはなかなか難しいので、そこら辺の部分というのは、当然、これは手続に基づいてやるとなると、費用もかかってくると。そうすると補正の補正という形にはなると思うんですけれども、その含みを含めた中で進めていっていただきたい。そのぐらいの決断を持った中で、今回、予算を上げているんだというような答弁の仕方をしてもらいたかったなと思うんですけれども、当初、町営住宅に対しては4世帯が自治会というのですか。形成するにあたっては、最低ラインなんだよということで、我々もその言葉を聞きながら期間を待っていたという部分もありますので、この辺はすんなりいけば、それに越したことはないのですけれども、そこら辺も含んだ中で、緊張

体制をとった中で、交渉にあたっていただきたいなど。何せ1世帯が残されて、嫌な思いをするというような立ち退き方法ではなくて、もうちょっと相手に対して丁寧にやっていていただきたいという部分で質問させていただきました。

○議長（茅沼隆文）

ほかに質問ございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

質疑がないようですので、質疑を打ち切り、討論になります。討論のある方いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

討論もないようですので、採決を行います。

議案第25号 平成29年度開成町一般会計補正予算（第1号）について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（茅沼隆文）

着席ください。起立全員によって、可決いたしました。